

特別展示

社会問題研究のフロントランナー ——研究所の創立から合併まで

大原社会問題研究所は、1919年の創設以来、社会事業や労働問題の調査研究を行うとともに、社会問題に関係する文献・資料を精力的に収集してきました。1937年に東京に移転する際、研究所の土地・建物・図書は大阪府に譲渡され、社会事業・社会福祉の調査研究と実務者養成に活用されました。1945年3月、大阪空襲の戦火を逃れた図書は、現在、大阪府立図書館と大阪府立大学の蔵書となっています。東京に移した文献・資料も1945年5月の空襲で多くは焼失しましたが、焼け残った土蔵におさめた貴重書や資料の一部は、現在でも研究所が所蔵しています。

この展示は、1919年の研究所創設から1937年の東京移転を経て、1949年に法政大学と合併するまでの研究所の活動に焦点を当て、当時の研究員が収集した貴重な洋書や1918年の米騒動資料、月島調査や水平社、堺利彦に関する資料など現在の所蔵資料を通して、社会問題の解決を目指すフロントランナーの姿に迫ります。

2019年10月1日（火）～10月20日（日）

10:00～11:30、12:30～16:30 *6日、13日の日曜日は閉室

法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー14階 博物館展示室
(東京都千代田区富士見 2-17-1)

JR・地下鉄線市ヶ谷駅／飯田橋駅下車徒歩 10 分

主催：法政大学大原社会問題研究所

TEL:042-783-2305 FAX:042-783-2311 MAIL:oharains@adm.hosei.ac.jp

HP:https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/

入場無料

